

(2)都市公園のストック効果を 高めるための工夫事例

① 様々な主体との連携

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
市民との連携	NPOが公園を舞台に地域を活性化！	大手門公園	小諸市	114
市民との連携	市民がつくりつづける公園！	新朝日山公園	氷見市	115
市民との連携	河川堤防を市民が集う憩いの場に！	信濃川やすらぎ堤緑地	新潟市	116
市民との連携	市民がつくる高架下の公園の新たなかたち！	みなとのもり公園	神戸市	117
市民との連携	住民が「来園者＝ゲスト」から「主催者＝ホスト」になる公園	有馬富士公園	兵庫県	118
エリマネとの連携	エリアマネジメント組織との連携でにぎわい創出！	新宿中央公園	新宿区	119
エリマネとの連携	「中央公園芝生化大作戦」で中心市街地の活性化！	高松市立中央公園	高松市	120
民間との連携	企業と協働でパークマネジメント	豊砂公園	千葉市	121
民間との連携	官民連携による公園再整備で地域活性化！	天王寺公園	大阪市	122
民間との連携	特別名勝での結婚式、披露宴！	栗林公園	香川県	123
民間との連携	民間活力導入の公園再整備で地域を活性化	久屋大通公園	名古屋市	124
多様な主体との連携	市民参画の可能性を拡大！	愛・地球博記念公園	愛知県	125
多様な主体との連携	日々進化し続ける公園！	泉佐野丘陵緑地	大阪府	126

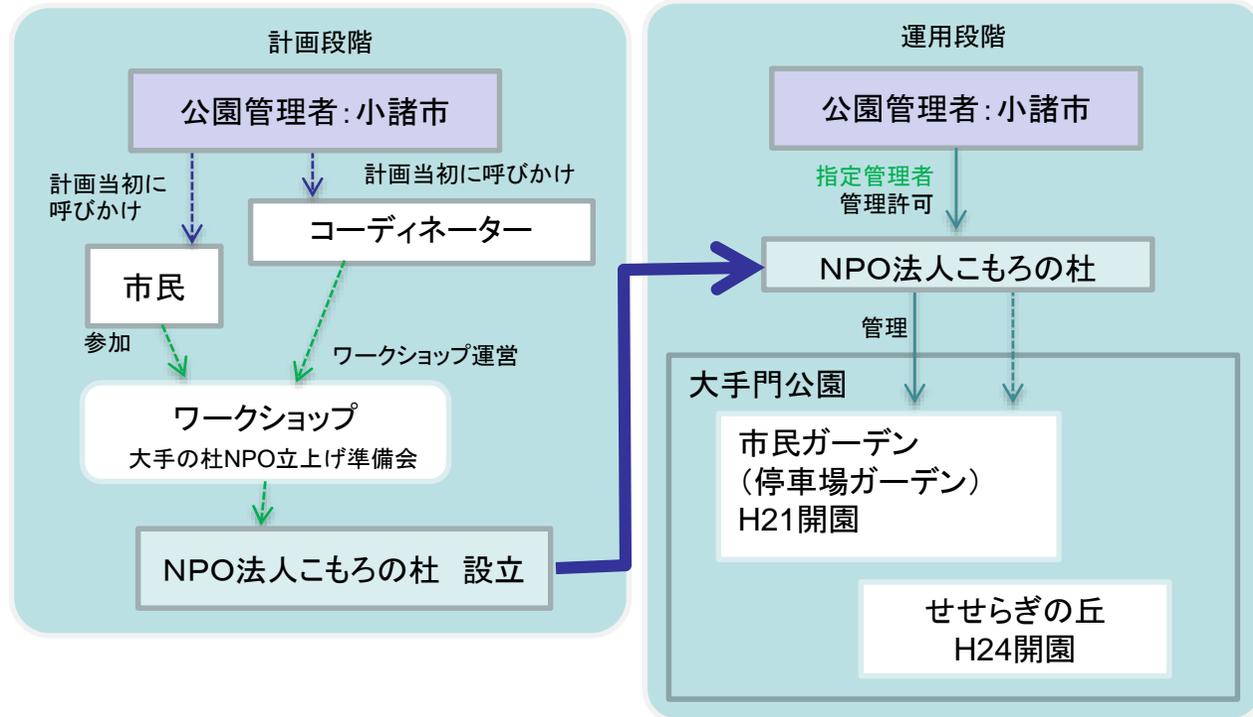
- 大手門公園(小諸市)の一角にある駐車場ガーデンは、駅前の観光地が疲弊したことの対策として整備。
- 公園の整備段階から市民の意見を取り入れながら整備、管理運営方法を検討。
- 開園後は、市民ワークショップメンバーがNPOを立ち上げ、維持管理に関わっている。
- 地域の活性化を目指して、花によるまちづくり(園芸講座等の開催)、地元農産物の活用(カフェレストラン)に取組み、駅前の美観形成とにぎわいの創出に寄与している。

【効果】まちづくり活動拠点の形成

まちづくり活動団体が、整備・運営にかかわることで、まちづくり活動を活性化



【市民(NPO)が管理する駐車場ガーデンの庭部分】

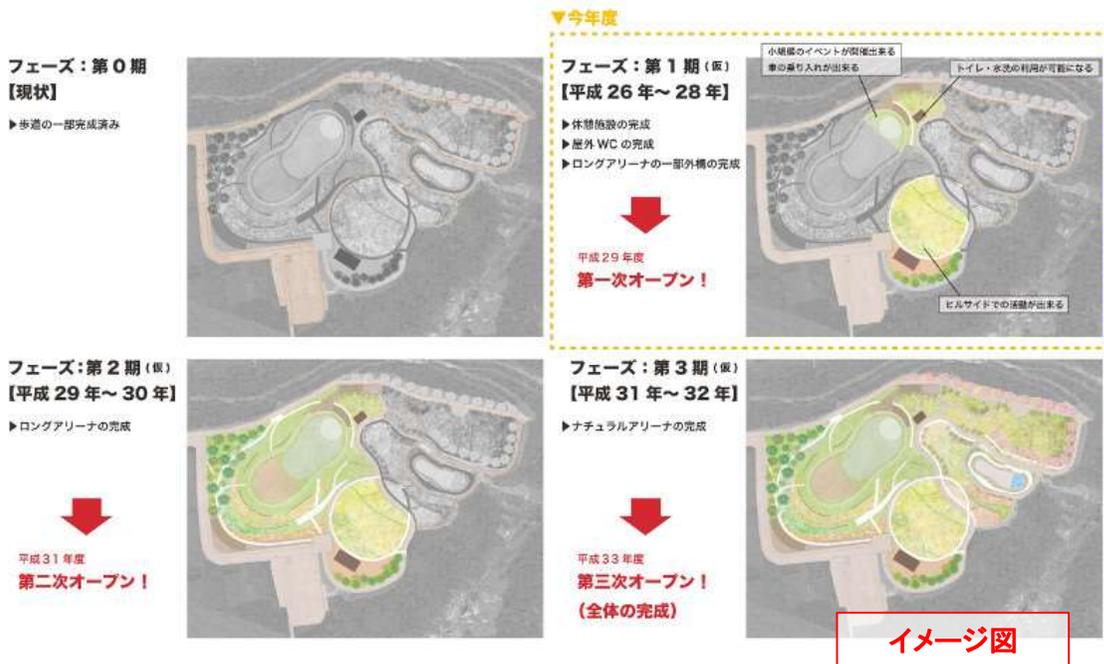


【地元コーディネーターの参画】整備段階のワークショップには、地域のまちづくり団体と市内のガーデニングボランティアが参加して、コーディネーターを務めた。
 【計画との整合】H19大手の杜・市民参加のまちづくりプロジェクト運営業務報告書(受託者:NPO法人小諸町並み研究会)において、市民参加と市民による管理運営の主体形成を行うことが計画されている。

市民がつくりつづける公園！

市民との連携

- 新朝日山公園(氷見市)は、平成26年度に**市民ワークショップ**により**基本構想**を作成。
- 平成27年度は、この基本構想を基に、**市民ワークショップ**で3つのエリアの使い方や公園運営について検討。平成32年度の完成まで、**市民意見**を取り入れながら**少しずつ整備する新しい公園づくり**を目指す。



【効果】市民が使いたいと思う公園を整備



【ワークショップの取組みで実施したコスモス花壇の種まきイベントの様子】

【ワークショップによる段階的な整備の実施】

ポイント 【市民が現地に親しむ工夫】公園の整備箇所において夕涼みなどの各種イベントを開催し、市民が公園整備場所に親しむ工夫をしている。
 【様々な市民意見の収集】ワークショップは常に一般公募で開催し、いつでもだれでも参加できるようにしている。また、学校でのワークショップ開催などを行い、一般公募では集まりにくい年代の意見も収集している。

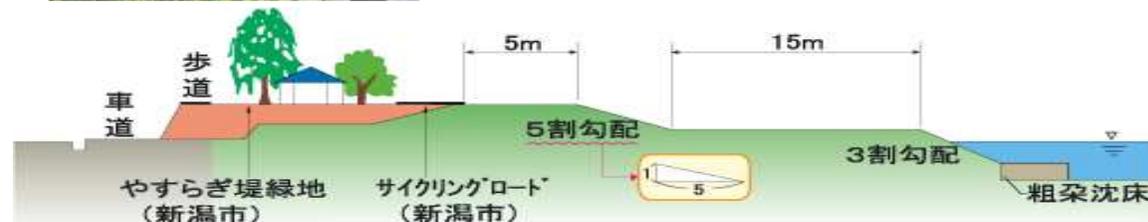
河川堤防を市民が集う憩いの場に！

- 信濃川やすらぎ堤緑地(新潟市)は、まちなかに潤いを与え、水に親しめる貴重なオアシスとして、多くの市民や来訪者に利用されている。
- 地元団体・民間企業等と連携した**イベント開催**や**市民参加によるチューリップ植栽**等により、市民の憩いの場となるとともに小学校の総合的学習の場として効果的に活用されている。

Before



After



【効果1】民間活用を図り、人が集うオアシスに！

民間活力を導入し、河川空間との一体的利用による大規模イベント開催により都心の水辺空間の賑わいを創出。



【ミズベリング信濃川やすらぎ堤会議】



【信濃川感謝祭やすらぎ堤川まつり】

【効果2】学校の総合学習の場

整備した河川空間及び緑地において市民参加や小学校の総合的学習の時間によるチューリップ植栽や小学生による清掃活動を実施し、教育効果も向上。



【チューリップ植栽事業】



【小学校の清掃活動】

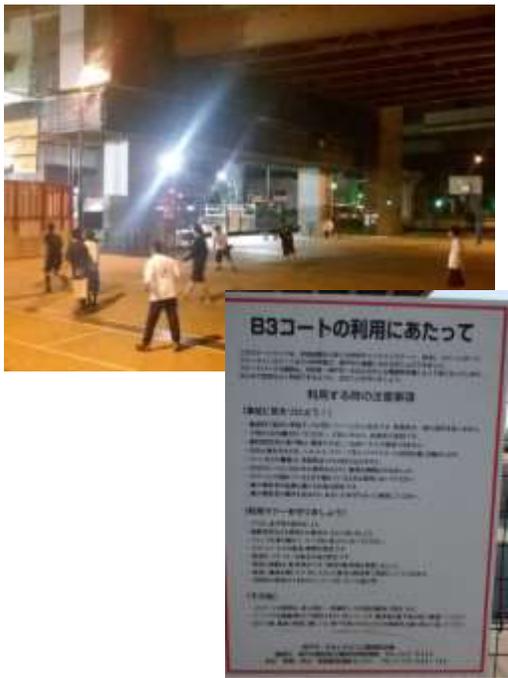
ポイント

- 【河川管理者との連携】信濃川の管理者である国と新潟市が連携し、河川敷の広場整備、堤防上の緑化などを一体的に整備。
- 【市民との連携】次世代を担う児童・生徒や地域住民と協働で、新潟市の花である「チューリップ」を植栽し、花に対する愛着を育ててもらうとともに、市民や来場者にも潤いを提供

市民がつくる高架下の公園の新たなカタチ！

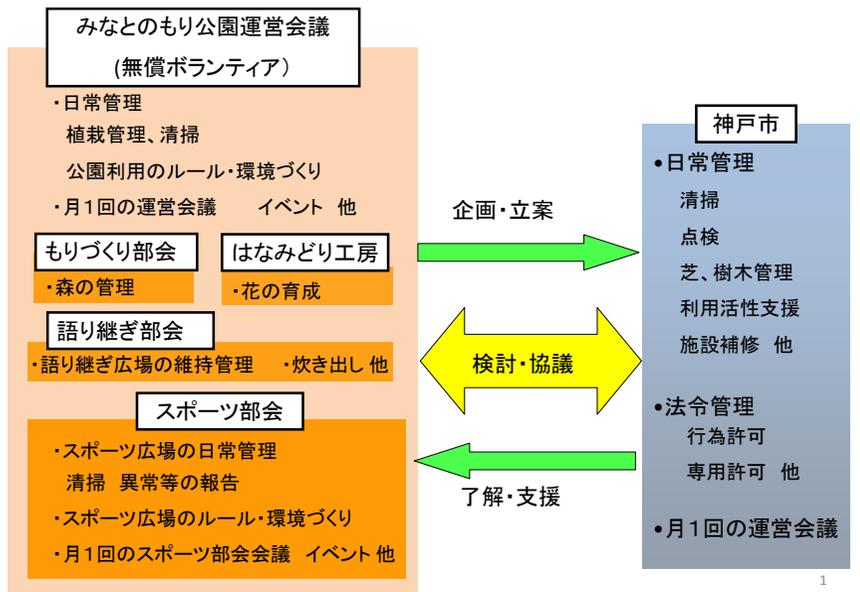
- みなとのもり公園(神戸震災復興記念公園:神戸市)は、神戸のまちが復興から発展へと前進する姿を木々の生長とともに見つめていく公園を基本理念に復興の記念事業として整備。
- この公園の管理運営は、**花やみどり、ニュースポーツなど様々な活動に参画する市民が立ち上げた運営委員会**が行っており、**利用ルール**の作成、**清掃**等を実施している。

Day × Night



【効果】ニュースポーツの拠点

特に公園内の道路高架下は昼夜問わずニュースポーツ広場として多くの若者に利用され、賑わいを創出している。



ポイント

【新しい運営のかたち】ニュースポーツ広場については、利用者が運営委員会を立ち上げ、利用ルールの作成や清掃等の維持管理活動を行っている。
 【高架下の有効活用】住宅街等では敬遠されがちなニュースポーツを道路高架下の空間にマッチングさせ、賑わいを生み出している。

- 有馬富士公園(兵庫県)では、住民の「参画と協働」を実現するために、住民手作りのプログラムなどを展開する「ありまふじ夢プログラム」を実施している。
- 住民グループが、「来園者＝ゲスト」ではなく「主催者＝ホスト」として自分たちがやりたいことを来園者を対象に展開、情報共有することで、公園を核にした新たなコミュニティを形成。

【効果】新たなコミュニティの創出

- ・多様な住民グループが、自分たちがやりたいことを企画し、イベント系、調査研究系、維持管理系などさまざまなプログラムが実施され、今までにない新たなコミュニティが創出(平成26年度実績:22団体、140企画、参加者62,153名)
- ・各グループの成果を発表する場を設けるなど、グループ同士の交流を図ることで、お互いに刺激し合うとともに、より良いプログラムの実施、公園を核としたコミュニティ形成に寄与。



【子どもクラフト】



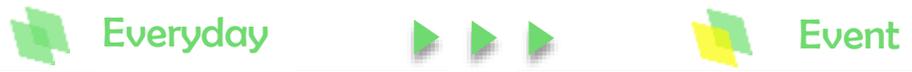
【天体観測】



【フルーツコンサート】

- 新宿中央公園(新宿区)は、超高層ビルが立ち並ぶ西新宿地区に位置する公園である。
- 西新宿地区の再生を民間組織で行うことを目的として設立した**エリアマネジメント組織と連携したスポーツや飲食のイベント等を実施することで、地区のにぎわい創出に寄与。**

【効果】地域の活性化と経済活性化効果



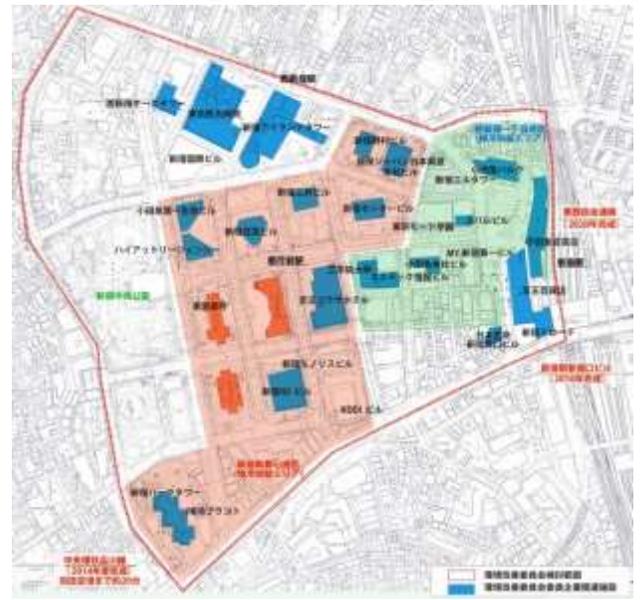
【水の広場】



【水と緑のEvening Bar!!!
(ビアガーデンの開催)】

来場者数 平成26年3,100名

- ・ イベントによる収益は、指定管理者が公園の維持管理費に充当して還元。
- ・ イベントの実施で、エリア全体の集客効果を高め、地域の活性化に貢献。



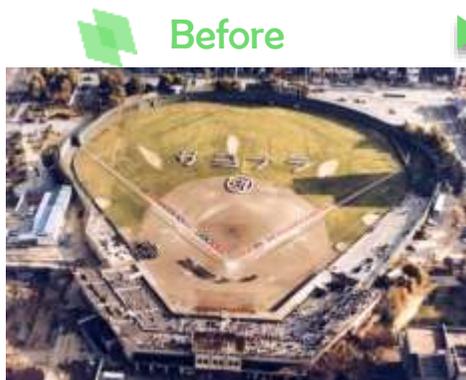
【新宿副都心エリア環境改善委員会活動範囲図】
(平成27年10月8日 Shinjuku Share Lounge 2015報道発表資料より)

ポイント

- 【地域企業等の連携】各企業・団体が地域の再生を行うために設立したエリアマネジメント組織である「新宿副都心エリア環境改善委員会」と連携し、共同販促、宣伝を実施。(水と緑のEvening Bar!!!など)
- 【各種制度の活用】公園のほか、国家戦略特区による、道路や公開空地を活用したにぎわい空間の創出(路上でのオープンカフェ、マルシェ等)を進めている。

「中央公園芝生化大作戦」で中心市街地の活性化！

- 中央公園（高松市）は、市役所に隣接した高松の中心市街地に立地しており、野球場移転に伴う再整備にあたって、周辺事業者のCSR活動はもとより、地元商店会を中心とした**エリマネジメント組織**が、**市民参加によって広場を芝生化する「中央公園芝生化大作戦」を実施。**
- 高松を代表する高松まつり、冬のまつり、フラワーフェスティバル、交通安全フェア、**オクトーバーフェスト**など官民を問わず**数多くのイベントが開催される空間**として生まれ変わり、**中心市街地の賑わいを創出。**



【効果1】市民の憩いの場形成

地元商店会が中心となったエリマネジメント組織が企画し、市民参加で広場の芝生化を実施。市民参加、交流の拠点としての機能が増進。

【効果2】地域活性化に寄与

芝生広場が整備されたことで大規模イベント開催が可能となり、中心市街地の賑わい創出、活性化に寄与。



【市民参加による自由広場の「芝生化大作戦」】

ポイント

【市民協働による芝生化】野球場移転後の公園の改修にあわせ、公園の中心に自由広場を整備。エリマネ組織が市民協働による芝生化を企画、実施。

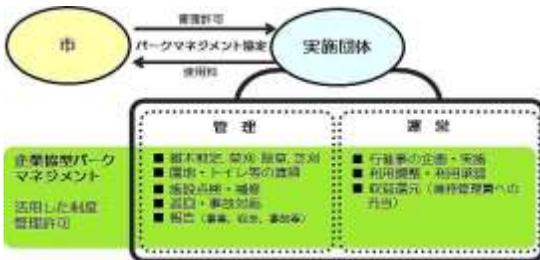
【エリマネ組織による大規模イベントの開催】芝生化した自由広場を活用し、エリマネ組織が主催する大規模イベントを開催。

企業と協働でパークマネジメント

- 豊砂公園(千葉市)は、幕張新都心の魅力向上と活性化、賑わい創出のため、**公園の維持管理・運営を自己資金のみで実施する企業を募集し、選定された者とパークマネジメント協定を締結。**
- 事業者となった公園に隣接するショッピングセンターが、市と調整しながら**大規模遊具の設置や地域活性化イベント**を広場で開催することで集客性が向上し、**地域活性化に貢献。**



【豊砂地区の全景 ※写真イオンモール(株)提供】



【事業の枠組み】

【効果】賑わいある空間を効率的に創出

303,000人



事業者による芝生広場を活用した大規模イベントにより、賑わいのあるレクリエーション空間を形成。

【「光の迷路」
(巨大迷路を兼ねた体験型イルミネーション)】

※写真イオンモール(株)提供

40,000人



【オータム・アウトドア・フェスティバル】

25,000人



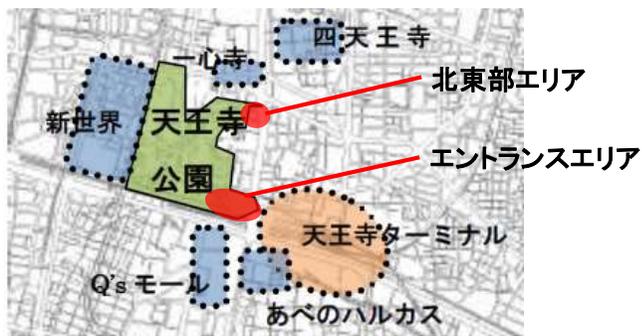
【千葉県ラーメン選手権】

ポイント

【企業との協働によるパークマネジメントの事業化】イオンモール(株)が社内に設置したパークマネジメント事務局が事業実施母体。都市公園法第5条管理許可並びに実施団体とパークマネジメント協定を締結。実施団体は、自己資金のみで事業(施設・植栽の維持管理、多種多様なイベント開催)を実施。

官民連携による公園再整備で地域活性化！

- あべのハルカスを有する天王寺・阿倍野地区の核となる天王寺公園(大阪市)のエントランスエリア等を民間資金導入によりリニューアル。
- 民間事業者が芝生広場整備や飲食物販施設の整備を行い、公園の魅力向上と地区の賑わい創出に寄与。



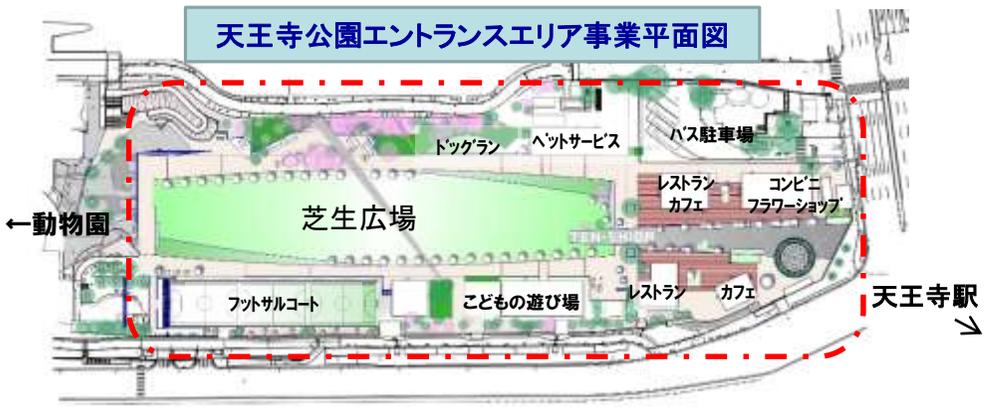
【効果1】公園の魅力向上

公園の玄関口として、飲食物販店舗やイベント開催等により賑わいを創出。また、公園の中心に大規模な芝生広場を導入するなどシンボル性の高い景観を形成し、公園の魅力向上に寄与。

【効果2】地域活性化に貢献

魅力ある空間が整備されたことで「天王寺・阿倍野地区」全体の魅力向上と集客力などの強化を図り、地区全体の活性化に寄与。

- ・エントランスエリア:平成27年10月1日オープン
- ・北東部エリア:平成27年10月1日一部オープン



ポイント

【民間資金の導入】
 大阪市が選定した民間事業者が、自己資金により芝生広場整備や飲食物販施設の整備を行うと共に、20年間の契約(協定締結)で公園の管理運営を実施する(「天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業」)。

特別名勝での結婚式、披露宴！

民間との連携

- 栗林公園(香川県)の掬月亭(茶室)では、平成24年度から結婚式場としての利用を開始。
- 平成27年8月からは、園内既存施設の商工奨励館の改修、**飲食施設管理者との連携**により、それまで園外で行っていた披露宴も園内で開催。
- 一歩一景といわれる変化に富んだ、**特別名勝にも指定されている美しい庭園での挙式が好評を博し、挙式数も年々増加している。**



【結婚式会場として利用可能な掬月亭】



【商工奨励館(外観)】



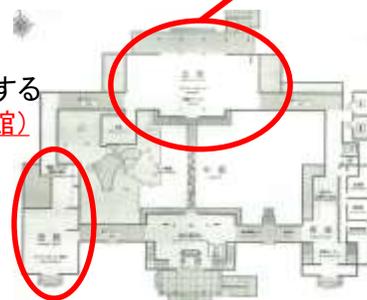
【披露宴開催が可能な商工奨励館の宴会場(北館)】

【効果】 新たな利用の拡大

結婚式と披露宴を園内で一体的に開催出来る環境を整えることで、公園の新たな利用が拡大。



管理者が運営する
飲食施設(西館)



【商工奨励館】

単位: 件

	H24	H25	H26	H27
結婚式 (掬月亭)	9	14	22	21
披露宴 (商工奨励館)				6

※H27は12月末現在

ポイント

【既存施設の改修に伴い飲食施設の管理者を公募】園内での結婚式ニーズの把握により、商工奨励館改修にあたり宴会場や飲食施設等を整備。飲食施設は管理者を公募して運営。管理者との連携により宴会場での披露宴も提供。

民間活力導入の公園再整備で地域を活性化

- 久屋大通公園内(名古屋市)のランに特化した有料施設「(旧)ランの館」は、緑化施策への貢献度や費用対効果の点で課題を抱え、平成27年3月に閉館。
- 収益施設の管理運営について積極的な民間投資を誘導し、事業者による柔軟な管理運営を可能として指定管理者を選定。事業者提案で無料施設「久屋大通庭園」を平成27年9月にリニューアル。
- 再整備後の収益施設活用や、地域・企業との連携イベントの実施により、活性化に寄与。

【効果】再整備後の施設活用により活性化

Before After



【旧ランの館(再整備前)】



収益施設エリア 庭園施設エリア

※【収益施設】
レストラン、カフェ、フラワーショップ、雑貨ショップ、
ビア&ワインガーデン、有料駐車場



ポイント

【民間活力の導入】民間のアイデアを生かすため、指定管理期間を10年間とし、企画提案型の公募・選定方法を実施した。
【庭園としての公園の魅力の維持】指定管理の選定において、庭園施設の管理について管理運営方針を提案させ、庭園としての機能を残すものとした。

市民参画の可能性を拡大！

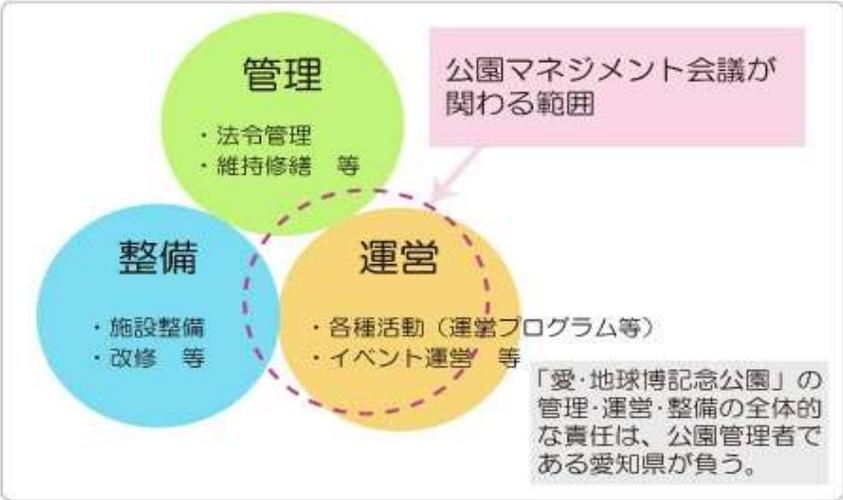
多様な
主体との連携

- 愛・地球博記念公園(愛知県)では、2005年に開催された「愛・地球博」の理念の継承の場として「市民参加・市民協働」を推進しており、NPO等市民団体、企業、大学等と行政のパートナーシップにより運営する“公園マネジメント会議”を設置している。
- 会議の会員によるそれぞれの活動のほか、他の様々な主体と協働する機会が増えることで、新たな活動の可能性が広がるとともに、市民の活力向上や地域間交流に寄与。

【効果】市民参画による公園運営、参画した団体のノウハウ・スキルの向上

一般公募によるNPO、ボランティア団体、企業、大学、研究機関、公園管理者、指定管理者等からなる会員による公園の運営について協議・実践する場を設けることで、市民参画を促進。

【アイデアの具現化例】
・あるNPOが雪遊びの場を提供し、他のNPOが同時に楽しめる多彩なプログラム展開、冬期の集客力が大幅に向上
・雪の搬出元の山間地域の物産展など、地域間の交流に貢献。



- ### 会議に参加するメリット
- ①いろいろな立場の人々に関わることで、交流のネットワークが広がります。
 - ②様々な課題や考えに接することで、新たな“気づき”を得ることができます。
 - ③公園利用者や他の主体者の考えを踏まえ、より公益性のある活動展開が図れます。
 - ④「愛・地球博」の理念と成果を継承するという、意義のある活動ができます。
 - ⑤「新しい公共」という、多様な主体との協働による地域社会を支え合う取り組みのノウハウを学ぶことができます。



【H28年2月現在の会員数:87】

ポイント

- 【話し合いの継続】話し合いは2か月に1回と定期的に行っており、主体的な取り組みが形になる機会を目指している。また定期的な話し合いは市民ニーズの把握にも役立っている。
- 【実現への応援】アイデアを具現化する際の各種調整等には行政も協働して実施している。

日々進化し続ける公園！

多様な主体との連携

- 大阪府では、**地域・企業・行政それぞれの主体が強みを活かした公園の整備・管理・運営活動を実施！**
- シナリオ型公園づくりにより、**時代の流れやニーズの変化に柔軟に対応！**
- 府民が**計画段階から関わりを持つことで愛着が高まり、維持管理やサービスが向上！**

地域・企業一体となった公園づくり

【効果】愛着だけでなく継続的な関わりを！



シナリオ型公園づくり

<構成メンバー>

・学識者、専門家、民間企業、他公園ボランティア、パーククラブ、地元市(計11名)

<役割>

・公園のテーマや方針、ルールづくり
 ・活動プログラムの承認・調整・創出
 ・整備内容の承認・助言・調整。提案
 ・パーククラブの支援
 ・運絵・管理状況の評価や方針見直し

- ・泉佐野丘陵緑地パーククラブ(会員数:96名)
 →指定の養成講座を修了したパークレンジャーによる団体。「人と公園をつなぐ」活動を展開し、公園づくりに関わる。
 例) 散策路づくり、植物の育成、各種調査、イベント開催etc...
- ・大輪会(地元企業グループ)
 →公園づくりに必要な資機材やパーククラブ養成にかかる助成。(振動ローラー、デュアルチッパー、高速炭化炉等の提供)

ポイント

- 【シナリオ型公園づくり】
 - ・多くの府民の方々と一緒に話し合いながら、公園の将来像や利用ルールを決定。
 - ・一度決まったルールも時代の流れや府民のニーズ変化に伴い、柔軟に対応し、改良。
- 【地域の活性化等に役立つ公園づくり】
 - ・企業の活動が社会貢献につながる仕組みづくり。府民主体のプログラム実施により地域活性化。

② 様々な施設との連携

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
再開発との連携	民間ビルの開発に合わせた公園整備で地域活性化！	淡路公園	千代田区	129
児童館等との連携	隣接する社会福祉施設との一体的な空間整備	東四郎丸公園	仙台市	130
児童館等との連携	既存の児童館等と一体となった公園再整備	千石公園	文京区	131
文化施設との連携	文化施設との一体的整備により注目スポットへ！	練成公園	千代田区	132
文化施設との連携	文化交流施設との一体的整備・管理でにぎわい創出	境南ふれあい広場公園	武蔵野市	133
文化施設との連携	隣接美術館との一体的再整備でにぎわい創出	美術の森緑地	練馬区	134
文化施設との連携	隣接施設との一体利用で名勝堪能！	奉先堂公園	新発田市	135
市民交流施設との連携	市民交流施設との一体的な空間整備・活用	阿賀崎公園	倉敷市	136
道路との連携	トンネルの上に地域を繋ぐ空間を実現！	城山水源のこみち	相模原市	137
道の駅との連携	地域交流館との一体的整備・管理でおもてなし	観音崎公園	指宿市	138
道の駅との連携	道の駅との連携により観光客の利便性を向上！	西山公園	鯖江市	139
駅舎との連携	旧モノレール駅舎を新たな交流拠点施設に!!	手柄山中央公園	姫路市	140
農業との連携	都市部における農風景の保全	農業ふれあい公園	武蔵野市	141

民間ビルの開発に合わせた公園整備で地域活性化！

- 淡路公園(千代田区)は市街地再開発事業のもと、民間ビルと一体的に拡張再整備を実施。
- 開発と同時に一般社団法人淡路エリアマネジメントを立ち上げ、再開発施設を拠点に地域活動を実施。また、千代田区とエリアマネジメント団体で協定を結び、公園を地域活動に活用。
- エリアマネジメント団体主催のイベントが、約2万5千人を動員するなど、地域活性化にも貢献。

Before After



【開発前】



【開発後】 +

淡路エリアマネジメントの発足

【効果】周辺との連携による地域活性化



【公園と広場を一体的に利用して多数のイベントが開催されている。】
(左上)マルシェ
(右上)ジャズイベント
(下)神田祭

【民間との連携】淡路公園の拡張整備は民間資金により実施。民間企業は容積率緩和を活用。

隣接する社会福祉施設との一体的な空間整備

- 東四郎丸公園(仙台市)は、児童館、地区コミュニティセンター、老人福祉施設に囲まれた立地であったことから、公園整備にあたって、**世代間交流の場として活用されるような施設配置**を検討。
- 整備内容は、地域住民、近隣小学校児童等が参加したワークショップにより合意形成を行った。
- 隣接する児童館とのアクセス性の向上のための植栽や園路の整備を行い、**一体的な空間整備**を行うことで、**子どもからお年寄りまで幅広い世代が公園を利用**。

Before ▶▶▶ After

【効果】子どもから高齢者まで多世代交流

隣接する社会福祉施設からのアクセス性を重視した公園整備により、子どもから高齢者まで幅広い世代が公園を利用



【整備前】



【整備後】



イメージ図

ポイント

【児童館との一体性】児童館では公園への直接の出入り口整備は児童の安全面から懸念があったが、外遊びの必要性や防災時の避難ルート確保等の理由から、児童館と公園の間にフェンスなどの高い仕切りを設けずに低木植栽で視界を確保し、一体的な空間整備を実施。

【老人福祉施設との一体性】散策路出口を2カ所設置し、それ以外は生垣植栽とパーゴラ、ベンチ整備によって視界がつながり、空間も一体的につながる状態とした。

既存の児童館等と一体となった公園再整備

- 文京区では、施設の老朽化に伴う安全・安心の観点からの公園再整備において、**既存の隣接する児童館、保育園及び地域活動センターと一体的に利用**できるよう施設から公園へのアクセスを確保。
- それにより、**施設の屋外空間としての利用が促進**。

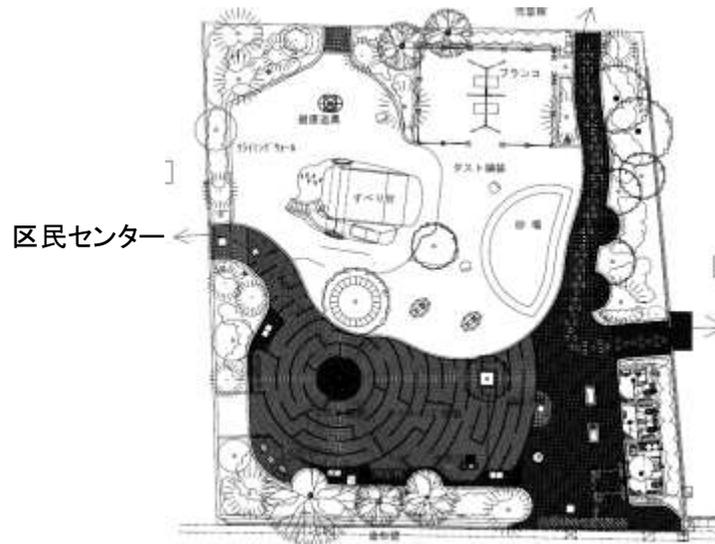
【効果】隣接施設の機能向上と公園の利用活性化

隣接する保育園と児童館から直接アクセスできるよう一体的に整備することで、保育園や児童館の屋外空間として利活用が進み、子育て支援機能が向上。
また、地域活動センターとも直接アクセス可能となり、地域の拠点として公園機能が充実。

Before



After



ポイント

- 【公園利用者との意見交換会の開催】意見交換会を実施し、公園に訪れる方々の意見を公園設計に反映。
- 【公園と隣接施設とのアクセス確保】公園再整備に合わせ、施設から公園への入口を整備。

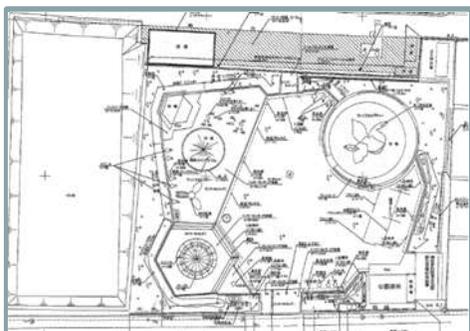
文化施設との一体的整備により注目スポットへ！

- 練成公園(千代田区)は、旧練成中学校に隣接。
- 中学校が廃校となり、文化芸術活動の拠点としてアーツ千代田3331を整備することが決定。
- 隣接する練成公園も施設と一体的に利用できるよう、**施設の出入口と公園をつなげて再整備することで良好な集いの空間を提供。**

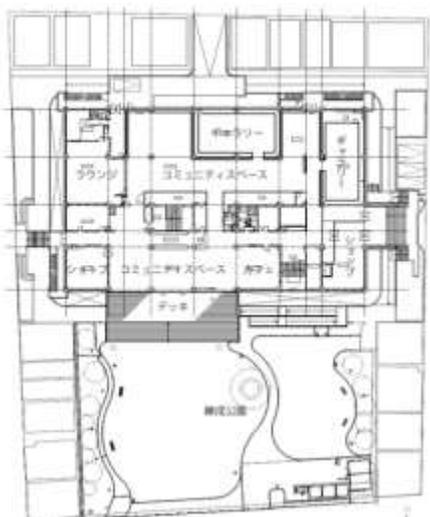
Before



After



【整備前】



【整備後】

【効果】
人々の集いの場としての
魅力向上



【「五軒町ファミリー会」の会場として利用】

ポイント

【異なる管理者間での連携】文化振興部局と、公園部局が連携して一体的な整備を実現。
 【一体的整備を見据えた管理運営計画】施設の運営管理者をプロポーザル募集する際には、公園との一体的な利用を想定した校舎の改修案を提出することを盛り込んでいる。

- 境南ふれあい広場公園(武蔵野市)は、武蔵境駅前の公共施設跡地を、公園と図書館をはじめとした文化交流施設として活用する計画に基づいて整備された。
- 文化交流施設と都市公園を一体的に整備するとともに、同一の指定管理者による管理運営を行うことで、文化交流機能の拡充と駅前のにぎわいを創出している。

Before



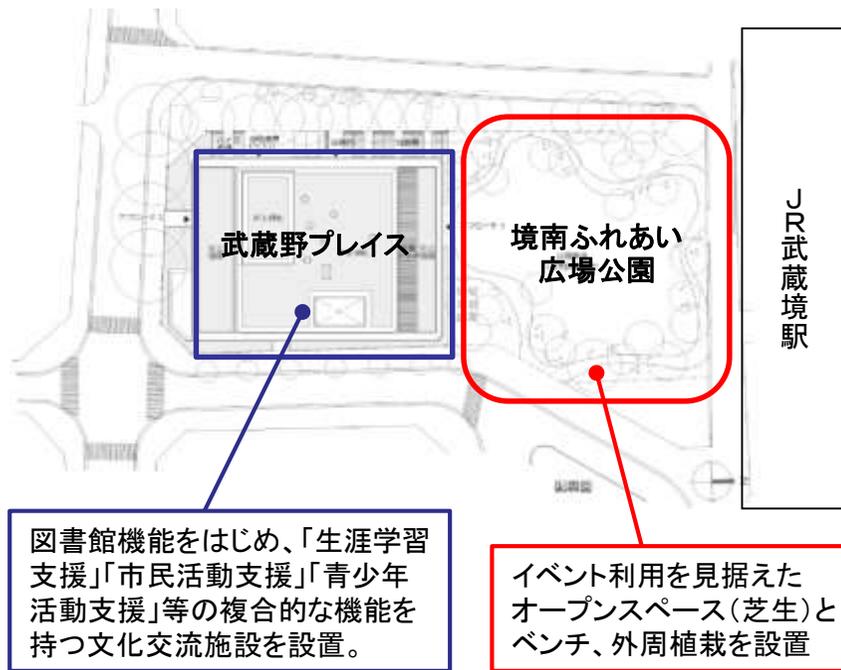
【工事着手前】

After



【整備後】

【効果】一体的整備によるにぎわい創出



ポイント

【一体的な整備・管理】武蔵野プレイスと境南ふれあい広場公園は、同一の指定管理者が管理。両施設を有効に利活用したイベント等を開催することで、駅前のにぎわいを創出。

【手続きの円滑化】公園での行為許可手続きは指定管理者が実施し、手続きを円滑化している(権限を委譲)。

隣接美術館との一体的再整備でにぎわい創出

- 美術の森緑地(練馬区)は、昭和60年10月に開設し、区民をはじめ隣接する練馬区立美術館、図書館等の来館者の憩いの場となってきた。
- 老朽化による改修が望まれていたため、緑地を美術館の前庭と位置付け、野外展示の場、美術館へいざなう場として再整備し、平成27年3月、美術館と一体的な空間となった緑地としてリニューアルオープン。双方の施設を活用したイベントの開催など、魅力を発揮している。

Before



After



【動物の-artを園内に展示】



【美術館主催の園内-artガイドツアー等のイベント】



【効果】相乗効果による魅力向上

園内に動物の-artを展示。美術館主催による展示物のガイドツアーや園内での美術の歴史を学ぶイベント開催により、公園の利用を促進し、魅力を向上。

ポイント

【美術館の前庭と位置づけ、美術館へいざなう場としての整備】 動物をデザインした多くの美術作品を設置した。

【来園者により親しんでもらうための工夫】 美術作品に触れたり乗ったり出来るようにし、安全に配慮した配置や舗装(芝やゴムチップ)とした。

隣接施設との一体利用で名勝堪能！

- 約360年前、新発田藩3代藩主がこの地に別邸を構え、4代藩主が造園したものが、五十公野御茶屋と庭園の始まり。ここで歴代藩主が参勤交代時に旅装を整えたり、また重臣に開放して茶会を催したり等を行っていた歴史がある。
- 昭和52年、この五十公野御茶屋庭園と建物を**奉先堂公園(新発田市)**として都市計画決定。
- 隣接する旧県知事公舎記念館との一体利用による相乗効果で観光と地域経済活性化に貢献。

【効果】地域の歴史文化伝承

五十野御茶屋庭園と建物を公園化することで地域の歴史文化遺産を継承。



奉先堂公園

日本の歴史公園100選(奉先堂公園)
国指定名勝(五十公野御茶屋)

【現在の五十公野御茶屋建物は平成11年度の修復工事により、文化11年(1814)当時の姿に復原したもの。】

【効果】一体利用により経済活性化に貢献

奉先堂公園への庭園景観が楽しめる隣接の旧県知事公舎記念館で、景観・食・施設を活かした活用を進めることで、観光利用が増加し、地域経済の活性化に貢献。



奉先堂公園を
活用したイベント

【食の迎賓館として一部リニューアル。館内厨房設備の貸出しにより会食会場等としても使用することが可能(要予約)。】

【奉先堂公園と隣接する旧県知事公舎記念館。現存する知事公舎としては国内最古。】



旧県知事公舎記念館から見た奉先堂公園

【名勝の都市公園化】名勝となっている庭園と建物を一体的に都市公園化することで、歴史文化を継承。
【隣接施設との一体利用】隣接施設の旧県知事公舎記念館を公園景観と食を活用した施設としてリニューアル。それにより観光利用等が増加し、交流人口増や地域活性化に一部寄与してきている。

市民交流施設との一体的な空間整備・活用

- 阿賀崎公園(倉敷市)は、玉島市民交流センターの整備にあわせて、市民交流施設の中心に移転し、一体的な整備を実施。
- 同一の指定管理者による一体的な管理を行っており、お互いの施設を効果的に活用したイベントの開催等により、にぎわいを創出している。

Before



After



【効果】一体的整備によるにぎわい創出

After



遊戯施設と植栽を配置。
芝生の整備により、「端午の節句まつり」「ふれあい人権フェスティバル等のイベント開催時に有効活用。



移転前の阿賀崎公園配置位置。

センター内には、ホール(360座席)、音楽室、展示室等の交流施設を整備。
隣接した武道館には、武道場、体育館を整備。

ポイント

【一体的な整備】既存の都市公園を移転し、市民交流施設の中心に都市公園を再整備することにより、市民交流機能が拡充。
【管理】市民交流センターと阿賀崎公園は、同一の指定管理者が管理。両施設を有効に活用したイベント等を開催することで、両施設のにぎわいを創出。

- 観音崎公園は、指宿市の北の玄関口に位置している。平成16年に建設され、知林ヶ島や池田湖、開聞岳など豊かな変化に富んだ景観地へ多くのドライブ客や観光客を誘う拠点として、南九州初のPFI事業を活用し整備された道の駅いぶすき「彩花菜館」を有する。
- 休息場所や観光情報の提供、地域の農水産物や特産品の販売及びイベントの開催などを行い、他の観光施設や地域の振興に寄与している。

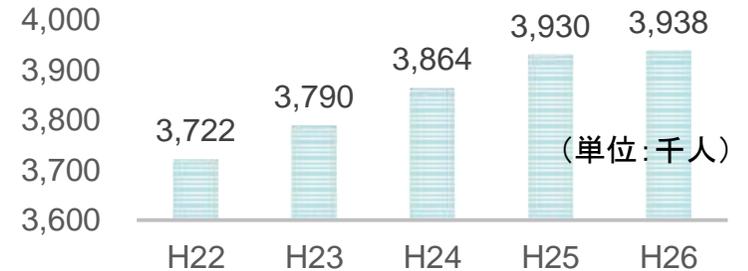
【公園と地域交流館からなる複合施設】



【効果1】地域交流館との一体的整備・管理でおもてなし

- 都市公園・駐車場・トイレ
 - ・24時間利用できるトイレと駐車場
 - ・イベントの開催
- 地域交流館
 - ・指宿地域の観光案内
 - ・農水産物や特産品の販売
 - ・ファーストフードコーナーやお食事処

【効果2】観光客の増加



ポイント

【道の駅との連携】PFI事業を活用し、道の駅と公園を一体的に整備することで、道の駅施設に加え、駐車場の拡大、広場の整備を行い、観光地の魅力を向上。

- 西山公園(鯖江市)は、年間96万人が訪れる市の主要な観光地であり、中心市街地活性化の一環として**道路管理者との連携により既設駐車場を活用した道の駅との一体的な整備を実施。**
- 物販施設や駐車スペースの拡大、公園高台へのエレベーター等の整備により、**観光地としての魅力、利用者の利便性が向上し、相乗効果によって中心市街地の一層の活性化に寄与。**

Before After



売店機能を兼ねた道の駅施設設置。エレベーターで上部公園へのアクセス確保。

- <整備前の状況>
- ・大型車駐車スペース 9台
 - ・普通車駐車スペース 42台

- <整備後の状況>
- ・大型車駐車スペース 9台
 - ・普通車駐車スペース 76台
 - ・道の駅(休憩・飲食・トイレ・物販施設等)
 - ・公園高台へのエレベーターおよび橋

【効果】公園の利便性向上

飲食施設の確保、道の駅エレベーターから公園高台への入園、駐車場スペースの拡大により公園の利便性が向上

【効果】地域活性化

休息場所の提供、地場製品の販売、周辺観光情報の提供により、街なか観光拠点として地域活性化に貢献。



【飲食施設】



【地場産品販売所】

ポイント 【道路との兼用工作物化】道路との兼用工作物化と道路部局との連携により建物は道の駅施設と公園施設を一体化した合築。1者の指定管理者が運営することで運営の効率化実現。

【地場産品の紹介・販売コーナー設置】地場産品の展示・販売コーナー設置により地域経済に貢献。

旧モノレール駅舎を新たな交流拠点施設に!!

駅舎との連携

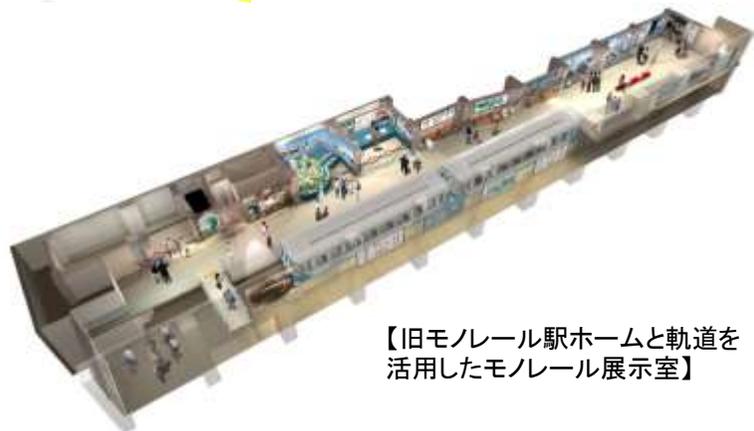
- 手柄山中央公園内(姫路市)にある旧モノレール駅を活用し、水族館やモノレール展示室、多目的ホール等を整備。
- 「手柄山交流ステーション」としてリニューアル・オープンし、公園内に新たな交流拠点を創出。

Before



【モノレール運行当時の駅舎】

After



【旧モノレール駅ホームと軌道を活用したモノレール展示室】

【効果】交流拠点の形成

旧駅舎を改修し、多目的ホールや、研修室、屋上広場等を整備。市民活動やイベント等の開催による交流拠点の創出に寄与。



【屋上広場でのイベントの様子】



【手柄山交流ステーション 多目的ホール】



【水族館新館 (播磨の里地・里海)】

<平成26年度末実績>

- ・水族館(既存) 改修前約15万人/年⇒改修後約21万人
- ・モノレール展示室(新規) 約8.7万人/年
- ・多目的ホール(新規) 約700回/年

ポイント

【既存施設の改修・活用】

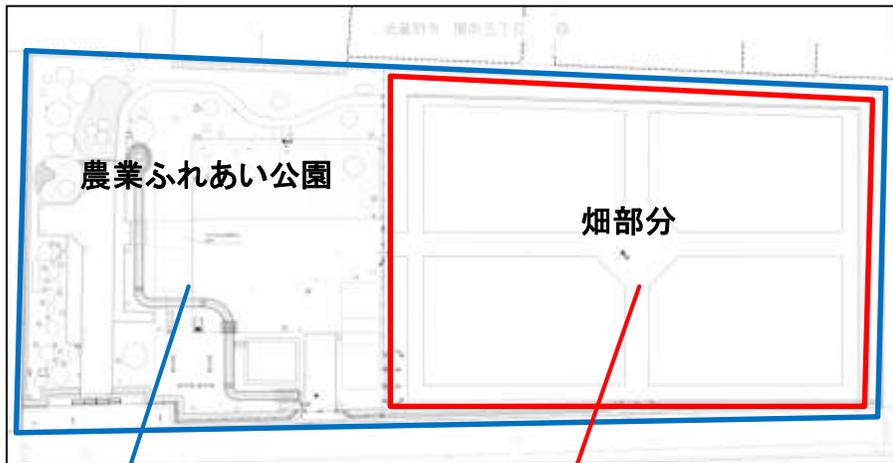
旧姫路モノレール手柄山駅舎を改修し、運行当時のプラットホームやモノレール車両を活用したモノレール展示室や水族館、多目的ホール等を整備し、多様な機能を持つ複合施設として、市民活動やイベント、緑化推進等の拠点として本公園の賑わいを創出

- 農業ふれあい公園(武蔵野市)は、武蔵野市関前四丁目の生産緑地を購入し、農地の保全・活用を目的として整備された。
- 農の歴史と文化にふれる新たな緑の拠点、市民が楽しみながら都市農業に対する理解を深める場所として地域コミュニティの活性化に寄与している。

【効果】地域の農風景の保全



【オープンスペース】



長屋門の移築(管理棟)や流れや水田を設け、芝生広場などのオープンスペースは一般来園者に利用されている。

公園の約半分を畑部分となる。NPOや緑ボランティア活動の場として利用されている。



【畑部分】

ポイント

NPOによる農業体験教室の開講や緑ボランティアによる公園の維持管理(草花の植え付け、緑の保全創出、公園の美化など)。農風景の保全により市民がより農業を身近に感じ体験することができる。夏と秋に収穫イベントが開催され、地域コミュニティの拠点となっている。

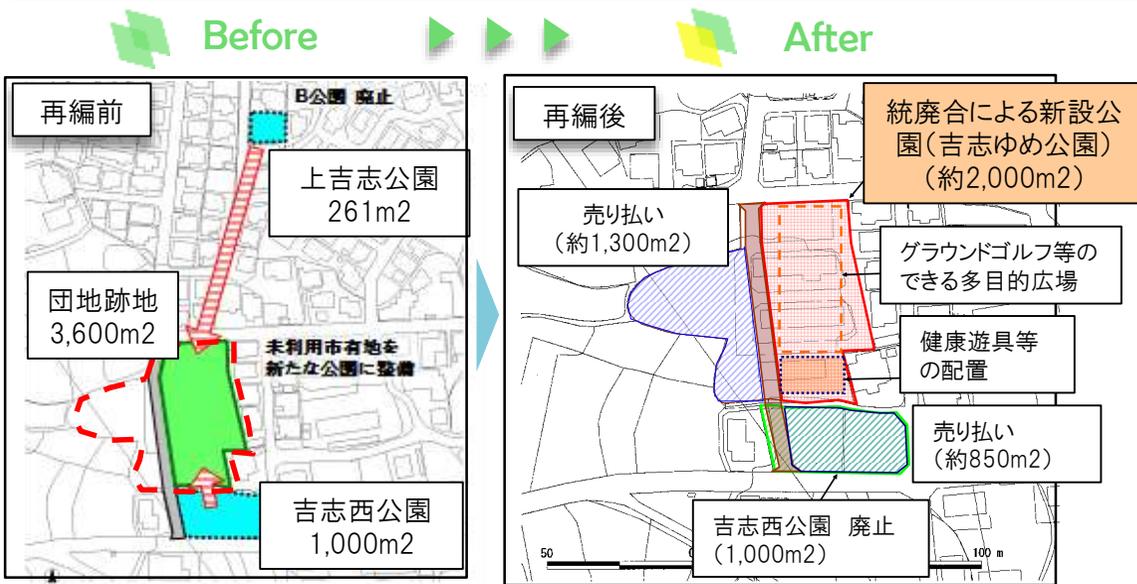
③ ストックの再編

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
施設再編	公園をまとめてもっと使いやすく！	吉志ゆめ公園	北九州市	144
施設再編	施設再配置により都市のシンボルゾーンを形成！	久屋大通公園オアシス21	名古屋市	145
機能再編	機能分担で公園の多機能化と施設量の低減を両立！	藻岩ころころ公園	札幌市	146
機能再編	地域に役立つ公園を、地域と一緒に考え、再整備	中畑公園 山路一丁目公園	北九州市	147
機能再編	各公園に分散したスポーツ施設の集約！	戸畑まちづくり構想 (浅生2号公園) (都島展望公園)	北九州市	148
機能再編	公園区設定でバランスのとれた再配置	さわやか公園 扶桑通り公園	武蔵野市	149

公園をまとめてもっと使いやすく！

- 北九州市では、広場が小さく、段差があるなどにより利用が限られる小規模公園が存在。
- 住民の声を受け、**遊休市有地(団地跡地)を活用した小規模公園の集約・再編**により、公園利用者のニーズに合った「吉志ゆめ公園」を設置。(2公園廃止→1公園新設)
- 子どもから高齢者まで利用できる公園に生まれ変わり、**利用者からも満足の声**。



<利用者の声: 自治会長>

- ・週3回のグラウンドゴルフや朝夕のウォーキングに活発に利用されており、住民のレクリエーションや健康づくりにとっても役立っている。
- ・休みの日や夕方には、小学生たちが広々とした広場で遊ぶ姿が、多く見られるようになった。
- ・公園での花づくりや定期的な清掃などを地域の行事として行い、自治会の活動が活発化した。地域の美化や絆づくりに満足している。

【効果】ストック再編による魅力向上

廃止した吉志西公園



廃止した上吉志公園



・従前は公園が小さく、周辺住民の多様なレクリエーションニーズに対応できないことが課題。

新設した吉志ゆめ公園



・利用者のニーズに合った新たな公園に統合

ポイント

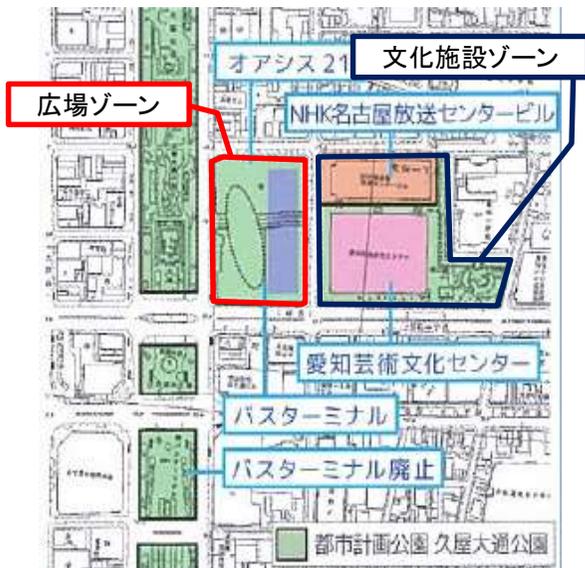
【計画との整合】北九州市では、緑の基本計画で小学校区単位で整備目標値(1㎡/人)を定め、目標値を上回る場合は原則として新たな公園の整備を行わないこととしており、吉志ゆめ公園のある小学校区では目標値を上回っていた。

【住民との合意形成】市民の要望を踏まえ、ニーズに合った新たな公園を市営住宅跡地に整備する代わりに2公園を廃止。

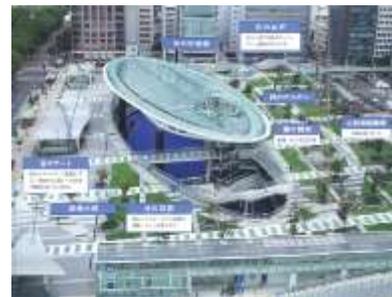
施設再配置により都市のシンボルゾーンを形成！

- 久屋大通公園(名古屋市)は、旧栄公園の老朽化と旧愛知県文化会館、旧NHK放送会館の建て替え計画を機に、**両施設と旧栄公園の敷地を入れ替え**、「広場ゾーン」と「文化施設ゾーン」として**再整備**。
- 「広場ゾーン」(愛称「オアシス21」)は憩い、賑わい、ふれあいが調和した**全国でも珍しい立体型公園**、**公共交通の結節点**として整備。
- 地上・地下の人の流れ、回遊性を確保し、商業施設や多彩なイベントにより**都心の活性化に寄与**。

Before → After



【効果】魅力と利便性の向上による都心の活性化



【オアシス21 全景】



【水の宇宙船】



【銀河の広場(イベント広場)】

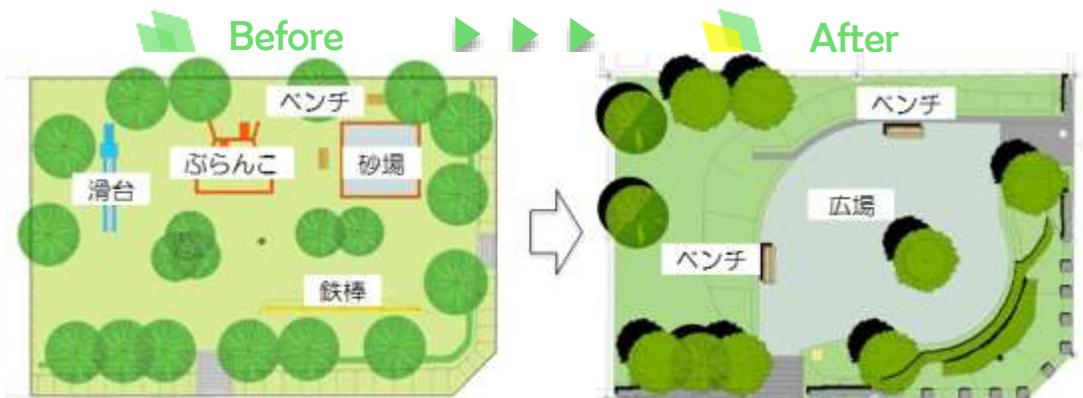


【バスターミナル(待合室)】

ポイント

【愛知県・民間との連携】施設の老朽化、建て替え計画を機に、愛知県・NHK・名古屋市で栄公園地区の総合的な整備に関して合意
 【オープンスペースの有効活用】地下に広場、商業施設、バスターミナルを配した立体型の公園

- 札幌市では、平成20年度から機能分担の考えによる公園再整備を実施し、平成26年度までに40の狭小公園(1,000㎡未満)において再整備を実施。
- 同一誘致圏内にある複数の公園において機能を分担することにより、**様々なニーズに対応するとともに、施設総量の削減による維持管理コスト縮減を可能に。**



【狭小公園の再整備事例(藻岩ころころ公園)】

- 同一誘致圏内にある2つの街区公園において、機能分担による全面再整備を実施。
- 北の沢山の子公園(4,398㎡)は、地域の中心的な公園と捉え、遊具など**レクリエーション機能主体の公園**に再整備。
- 藻岩ころころ公園(338㎡)は、遊具などを撤去し、休憩施設に**機能を絞って再整備(機能特化)**。



【効果】機能重複の解消

- ・かつては面積の大小に関わらず、遊戯施設が主体の公園が多数であったが、面積の小さい公園が休憩施設、広場主体などとなることで、機能重複が解消され、**新たなニーズに応えることが可能となった。**



【地域の中心となる公園の再整備(北の沢山の子公園 遊具広場)】

【効果】管理費の縮減

- ・機能重複の解消により、**施設量が低減されたため、維持管理コストの削減につながった。**
- ・40公園で再整備を実施した結果、遊具数が整備前の134基から65基へと半減し、**単年度当たりの維持管理コストも約600万円から約290万円に半減した。**

【機能特化対象公園】対象公園の誘致圏(半径250m)が、他公園の誘致圏でほぼ全て覆われることが条件。
 【市民意見の反映】計画段階で説明会等を開催。地元住民の意見を反映するほか、機能分担の考えについて了承をいただいたうえで実施している。このため、狭小公園であっても地域ニーズが高ければ、遊具を残すケースもある。

- 北九州市では、小学校区単位で地元組織とともにワークショップを開催し、校区内にある複数の“老朽化した身近な公園”について、計画段階から地域住民が参加し再整備計画を策定。
- 地域と一緒に考えることで、公園利用の活発化、コミュニティー活動の活性化が図られた。

【効果】公園への愛着が深まり、地域コミュニティー活動の活性化と公園の利用促進

●「地域に役立つ公園づくり事業」のイメージ



● 地域住民の声（20校区で事後アンケートを実施）

Q: 公園利用は増えた？
Q: 地域ニーズにあう公園になった？

↓
およそ8割の方が肯定する意見

自由意見より
*公園利用者が以前より多くなり、公園利用が活発になった。
*みんなで作った公園と思えるようになり、公園に愛着が持てるようになった。
*公園愛護会などの地域活動のことがよく分かるようになった。
公園愛護会:公園の管理・運営を行う地元組織

● 整備事例 八幡東区 高槻小学校区



中畑公園の場合 ～地域の核となる公園に



【多世代が集い交流する公園へ再整備】
・幼児用遊具
・健康器具
・スロープ
・休憩舎、花壇 等



山路一丁目公園の場合 ～高齢化進む地域の公園



【高齢者が運動できる広場へ再整備】



健康づくりをしたい

【ワークショップの風景】

ポイント

“ワークショップは意見を聞きあう場”
【様々な立場、多世代の住民参加を促す】 ①「かわら版」を全戸配布で途中経過をお知らせ ②「小学校で公園アンケート」で子どもの意見も取り入れる
【合意形成が大切】 ①公園見学会で情報共有 ②自由な意見交換だけでなく、公園管理者の目線に立ったポイントを提供しながら計画案を策定

- 武蔵野市では公園の機能分担を図る「公園区」を設定。公園区内のバランスを考慮して小規模公園の機能を分担・特化させることで小規模公園を有効活用し、魅力を向上。
- 地域や利用者との合意形成を図ったうえで再整備計画を検討し、整備を実施。

Before



整備前



After



整備後

【再整備した公園例(本宿東公園)】

公園区の単位



【効果】小規模公園の機能向上

公園区ごとの地域特性や公園の利用実態等を踏まえた評価をもとに、地域や利用者を交えた整備計画を検討することで、小規模でも地域に適した機能を有する魅力的な公園が実現。

【扶桑通り公園{リニューアル後}
(広場+遊び型)】【さわやか公園{リニューアル後}
(広場+遊び型)】

ポイント

【公園リニューアル計画の策定】利用実態、施設・地域性、活用ポテンシャルの3分野20項目を評価する公園緑地カルテを作成し、整備対象を選定。それをもとに、公園区の中で、緑、健康遊具、広場等の機能分担を図る計画を策定。